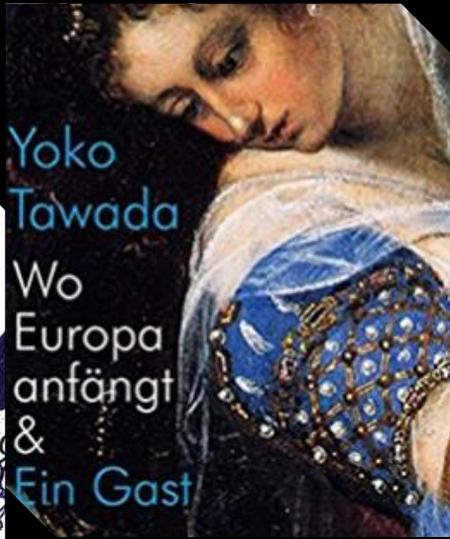


恐怖と想像力の行方

2019年11月7日(木)、14:30～
 待兼山会館2階会議室
 聴講自由・事前申込不要
 問い合わせ：比較文学研究室(内線2168)



環境 第三の空間
 伝番 拒絶
 受容
 文脈
文化移転
 採借 用 拡散 再解釈
 ハイブリディティ



2019年11月7日(木)、14:30～、待兼山会館2階会議室

阪大比較文学会シンポジウム

—恐怖と想像力の行方—

14:30～14:35 開式の辞 橋本順光

第一部 研究発表

14:35～15:00 飯村言葉

「『東京デパート戦争体験記』にみる怪異と消費社会の関係」

15:00～15:25 胡恒穎

「ホラー映画におけるシミュレーションとシミュラクル
—人面魚を例として—」

15:25～15:55 エスカンド・ジェシ

「日本怪奇小説と日本ファンタジーの文化移転的ジャンル成立に関して
—世界文学としての可能性と問題性を巡って—」

15:55～16:25 陳潮涯

「聊齋志異—映像としての再受容」

16:25～16:40 休憩

第二部 講演と講評

16:40～17:15 ヨコタ村上孝之

「多和田葉子のロシア」

17:15～17:50 橋本順光

「手塚治虫が描いた原子力の平和利用
—来るべき人類と鉄腕アトム—」

17:50～18:30 講評と議論

講評者：平石典子(筑波大学)・エリス俊子(東京大学)
ヨコタ村上孝之(大阪大学)・橋本順光(大阪大学)

18:30～18:35 閉式の辞 橋本順光

総合司会 朴秀浄

主催：大阪大学文学研究科比較文学研究室